

## はじめに

一浪して大学に入学後、すぐに気づいた。

「自分」がない！

地上で生活できないことがわかり、セミの幼虫のように地下にもぐった。

大学は中退してアルバイトで暮らし、故郷に戻って地元企業に就職し、結婚して子どもを授かり、定年間近で退職・転職し、そして独立。

ようやく外皮ができて、地表に出ても生きていけるように思えて、久しぶりに出てきた。

地上はまぶしい!!!

いま地上を支配している “ろくでもない世界” この鬱屈した情勢を打破するもの、それが  
縄文人の生き方・考え方だと感じています。

靈性が高く、力強く、しかも調和している。そんな世界を実現するために従来の固定観念、すべての常識を見直し、“縄文の蘇り”を目指します。

## 好きな人物

第一位 山岡鉄舟（剣と禅を究め悟りの境地に。西郷と江戸無血開城を成し遂げた真の

立役者）

第二位 石原莞爾（純粹な理想主義者にして抜群の実行力で軍事作戦を敢行し満州国建国を成し遂げた、自由奔放・独立不羈の天才。極東軍事裁判での痛快な応対は見事！）

第三位 中村天風（波乱万丈の人生を経てヨガで悟りを開く。虎をもおとなしくさせる強烈なオーラの持ち主）

第四位 出光佐三（一代で出光興産の財を築いた信念と反骨の人。戦中の軍部・世界の

石油メジャー・統制好き日本官僚の裏をかいて勝利を収めた)

第五位 ツアラトウストラ（ニーチェの代表作に登場する主人公。恐るべき高みに達し

たニーチェの分身にして真の姿)

第六位 ナポレオン・ボナパルト（なんといつても「英雄」の代名詞。スケールの大き

い愛すべき「唯我独尊」の人)

これは私のブログのプロフィールです。最初の部分はセミにたとえて、明るくはずんだ調子で書いていますが、それは「地下」の暗い世界で長い間過ごした反動です。

「山高ければ谷深し」といいます。とはいえ、私の「谷」はそれほど深くはなかったと思います。強烈な不幸、苦難に見舞われたわけではありません。ただ、長かった。やたらと長かった。うんざりするほど、長かった。途中で諦めかけたほどに。

そこから抜け出すことができて、今は明るい未来のことにしか目が向いていませんが、今回執筆のオフアをいただき、過去を振り返ることになりました。これは自分の半生の曖昧な記憶を明確にするまたとない絶好の機会です。一つの区切りにもなりそうです。

また、読まれる方にとっては、人生を考えるうえでの参考になるのではないかと思います。なにがしかのヒントを得ていただけるようなら嬉しいです。「他人の不幸は蜜の味」と言いますから、少なくとも気晴らしにはなるでしょうが、できるだけ楽しんでいただけるように綴ってみたいと思います。